

議会報告会実施報告書

|       |  |
|-------|--|
| 開催日時  | 平成27年10月30日 19時00分 ～ 20時20分  |
| 開催場所  | 金山集会所  |
| 出席議員  | (班長) 山条忠文<br>(司会) 山条忠文 (記録) 東原 章<br>(副議長) 大藤匡文<br>(班員) 東原 章, 鳥飼年幸, 斉藤義明,<br>植條敬介, 大前寛乗, 山条忠文   |
| 参加市民数 | 22人 (男性16人, 女性6人)  |
| 実施内容  | <p>議会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶 大藤匡文</li> <li>・出席議員自己紹介</li> <li>・委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>総務消防委員会 大前寛乗</li> <li>教育民生委員会 植條敬介</li> <li>市民建設委員会 斉藤義明</li> <li>坂出北フルインター</li> <li>建設促進特別委員会 大前寛乗</li> </ul> </li> <li>・質疑応答</li> <li>・意見交換会</li> <li>・閉会挨拶 山条忠文</li> </ul>  |
|       | <p>質疑応答</p> <p>&lt;質疑&gt; 新庁舎建設について、平成30年度としていた完成時期を、平成32年度と2年程度後ろ倒しすることで、建設費用を低く抑えることができるのか。</p> <p>&lt;答弁&gt; 費用を低く抑えられるかどうかは別にして、当初計画において22億8,500万円とされていた庁舎の建設費用が、基本設計後に29億円となることが判明した。その上、新しく立体駐車場を建設するということになれば、新たに3億数千万円かかり、全事業費は37億円となり、これではあまりにも市民負担が大きすぎる。また、坂出市の人口が減少していく中、市民の方々のご理解がいただけるような対応をしなければならない。そのためには、時間をかけて良いものを造るということで、2年間予定を後ろ倒しにしたが、これによって、費用を低く抑えられるということではないのでご理解賜りたいと思います。</p> <p>&lt;質疑&gt; 坂出北フルインター建設が大切なことは分かるが、浜街道の高松との東西のパイプをどうつないでいくのか。トンネルは暗く、対面通行であり、またトラックが多く高齢者にとっては</p> |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>カーブが危険であるが、どう考えるのか。</p> <p>&lt;答弁&gt; 国による準備段階調査の段階であり、今の発言を含め協議していくと思いますが、何も決まっていないのが現状です。</p> <p>&lt;質疑&gt; 関連して、坂出北フルインター化についても、市と市議会は戦後70年を検証してから計画してほしい。浜街道の両側で、坂出市と宇多津町では大きな違いがでたことは検証されたのか。</p> <p>&lt;答弁&gt; 貴重なご意見をいただきましたが、我々は歴史を紐解いて先人の苦労とか功績を称えていかなければなりません。</p> <p>坂出北インターのフルインター化に関しては、10数年前から坂出商工会議所が中心となり、署名活動を展開してきたが、進展はなかったのが実情です。</p> <p>今回、準備段階調査箇所とされたのは、東南海・南海地震という大規模災害の発生が予想される中、高知・徳島で被害があった時に重点港湾である坂出港に搬入された荷を搬送するためには坂出北インターのフル化が必要であるからです。過去の検証をしながらも、坂出発展のために坂出北インターのフル化が必要となります。</p> <p>&lt;答弁&gt; 仕事で北海道に住んでいた際に、瀬戸大橋開通20周年という番組をNHKで放送されたのを観たことがあります。成功したまち宇多津、失敗したまち坂出というような内容であった。宇多津町がなぜ成功したのかと言うと、どんな企業が来てもいいですよというスタンスが宇多津町であったと。一方、坂出市は、番の州企業のような大企業を誘致したいという思惑であったが、それによって結果に差が生じたのではないかということでした。番の州工業地帯が出来た当時は緩衝緑地が必要であったが、今は機能していません。この点においては、過去の反省を踏まえて、まちづくりという意味ではやっていかなければなりません。企業誘致や雇用を増やしていくのと同時に、坂出北インターのフル化により、まちづくりを進めていきます。</p> |
| 意見交換 | <p>&lt;意見&gt; 高齢者の事故が相次ぐ中、運転免許証自主返納制度について、思い切った対策を考えてはどうか。</p> <p>&lt;答弁&gt; 現在も返納制度はありますが、優遇制度について議会としても提案していきたいと思います。</p> <p>&lt;質疑&gt; 認知症対策も大事だが、1人暮らしの高齢者の健康管理や自宅で倒れた時などに、どういう対応をしていただけるのか。救急車が来ても玄関の鍵がかかっていたらどのようにして家に入るのか。安否確認のための良い方法があるのか。</p>   |

<答弁> 1人暮らしの方々への対応は、地域の方々が一番良く状況を把握していますので、地区社協の皆さんや民生委員の方々で支えていくのが第一であると考えます。また、近所の方々が洗濯物や新聞などが溜まっていないか意識することも大切でないかと思えます。

救急車に関しては、119番の登録制度を本市も運用しており、電話をかけた方の状況を消防が把握できるようになっています。対象者は、高齢者、障がい者、緊急時に支援を必要とする方などですが、本人の同意が必要です。ぜひ活用ください。例え玄関に鍵がかかっていたとしても、何らかの方法で救出しますので、ご安心ください。

また、きんとキットの容器に、持病や薬、かかりつけ医等を書いて冷蔵庫に入れ活用いただくこともできます。きんとキットは市役所に備えていますので、お持ちではない方は活用いただけたらと思います。